

麦わらシートの上 のおじいさん

炎が燃える、木で作ったお城の中。

廊下に畳で言えば一畳分くらいの広さの麦のシートが敷かれていた。

そこに一人の顎髭の生えたおじいさん。

彼は寝そべりながら夢を見ていた・・・・・・・・。

闇の中でひたすら長い階段を上り続ける夢。

足元をすべらせると・・・・・・・・

どこへ落ちるか誰も知らない・・・・・・・・・・。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。